

近畿地方整備局 紀の川ダム統合管理事務所
資料配布

配布 日時	平成19年10月15日(月) 14時00分
----------	--------------------------

件名	大滝ダムは紀の川の濁水に備え、 暫定的に貯水を始めます。 (お知らせ)
----	---

概要	大滝ダムは紀の川の濁水に備え、洪水期明けの10月16日よりダムの貯水を始めます。
----	--

取り扱い	_____
------	-------

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 奈良県政クラブ 五條市政記者クラブ
------	---

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 紀の川ダム統合管理事務所 副所長 服部 龍雄 管理課長 田村 友秀 電話：0747-25-3013 (代表)
------	---

大滝ダムは紀の川の渇水に備え、 暫定的に貯水を始めます。(お知らせ)

○大滝ダムは、平成15年度に白屋地区(貯水池右岸)において地滑りが発生し、
現在地すべり対策工事中です。

○大滝ダムは、紀の川の春先の渇水に備えるための緊急備蓄用水として、洪水期
明けの10月16日よりダム貯水位を標高273mまで上昇させる操作をおこ
ないます。

※標高273mは管理目標水位であり、実際の運用水位はそれよりも低くなります。

○紀の川では、2~3年に一回の頻度で渇水が発生しています。

今回の貯水(EL258m~EL273m)により緊急備蓄用水として確保で
きる水の量は560万m³となります。

○また、水位をEL273mに上げることにより、関西電力(株)大滝発電所におい
て水力発電が可能となります。

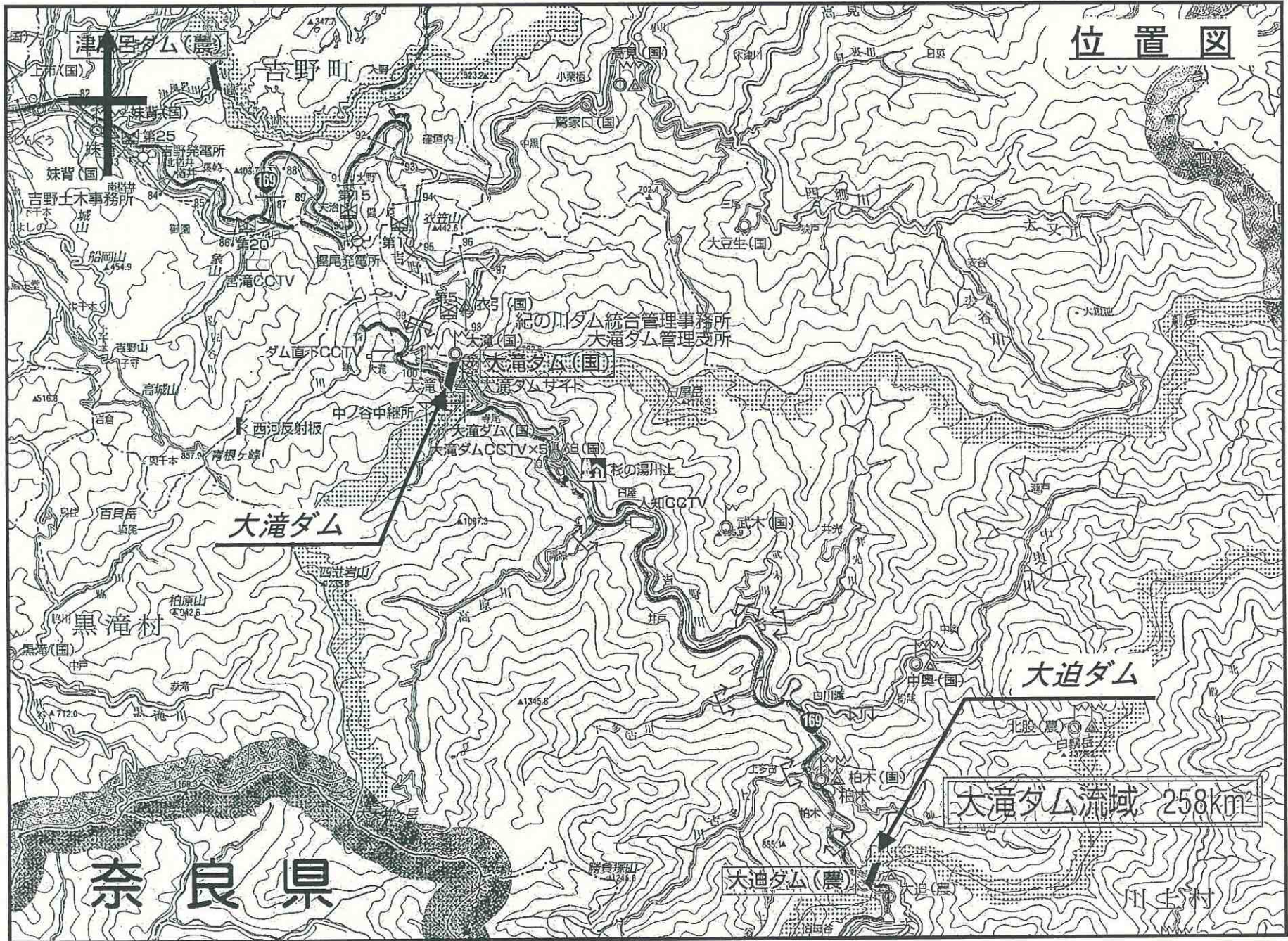
※水力発電は環境に優しいエコエネルギーとして注目されています。

【参考】

●昨年度(平成19年1月~5月)実施した同様の操作では、標高272mまで貯水位を
上昇させ、緊急備蓄用水として470万m³の水を確保しました。

●平成19年6月に実施した水位降下操作(洪水期の出水に備え、ダム貯水位を下げてお
く)の際には上流の大迫ダムとの連携を実施し、その結果、大迫ダムの貯水量を6日間
温存することができました。

位置図



大滝ダム暫定運用計画図(予定)

